

	/	/	14	00
		201		

協議題1 就学援助の手引きについて

いくつか修正点あり。今年中を目途に公表し区切りをつけ、手直しがあれば後日追加修正していく方向で進める。12月にアップできるようにするので、追加で修正箇所があれば11月中に調査研修Gに連絡を。手引きについて、作成後になかなか触れる機会がないので、それについては次回話し合いを行う。

協議題2 今年度の予算配分調整について

今年度の状況については、2つに分かれる感じになったと思われる。中学校については教科書採択替配分がなくなる分減額になるが、配分調整によって消耗品の減額を抑えた学校もある。また、消費税分も考えて調整を行った学校も。1細節分の予算を0にして他の細節にまわすということも可能だが（例えば庁用器具費から消耗品）、何のために必要か具体的に説明できるよう次年度以降のことにも考え方計画的に行う必要があるという意見交流があった。

協議題3 今年度の提言について

- ① 公費、私費区分の現状
 - ② 就学援助の対象経費の引き去りにおける対象経費の枠の拡大や課題
 - ③ 修学旅行・宿泊学習における就学援助対象経費以外の経費調査からの提言
- 以上の3点を今年度の提言とする案について、意見などは特になし。この方向で進める。

＜実践交流＞

・花川南中

保護者向け事務だよりの交流。諸費納入について保護者への連絡が必要となり、ピンチをチャンスに変える発想で事務だよりを発行した。カラー印刷機の導入も同時にアピールできたことなど、連絡以外の効果があった。

・浜益中学校

遠隔地の学校だが、札幌や石狩市内で出席しなければならず、限られた旅費の中での処理についての交流。実態に沿った処理で大丈夫との意見あり。

・聚富小中学校

傘立ての老朽化にともない、市販品ではなく公務補と協力して安価に機能的なものを用意できた事例の交流。